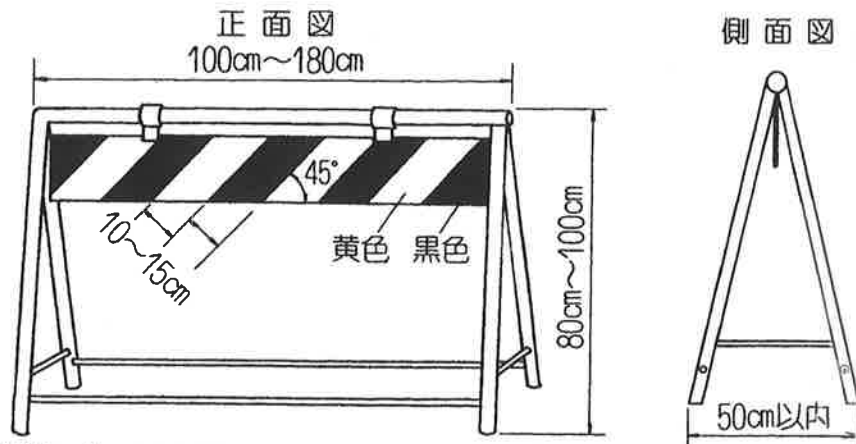


28.保安施設図

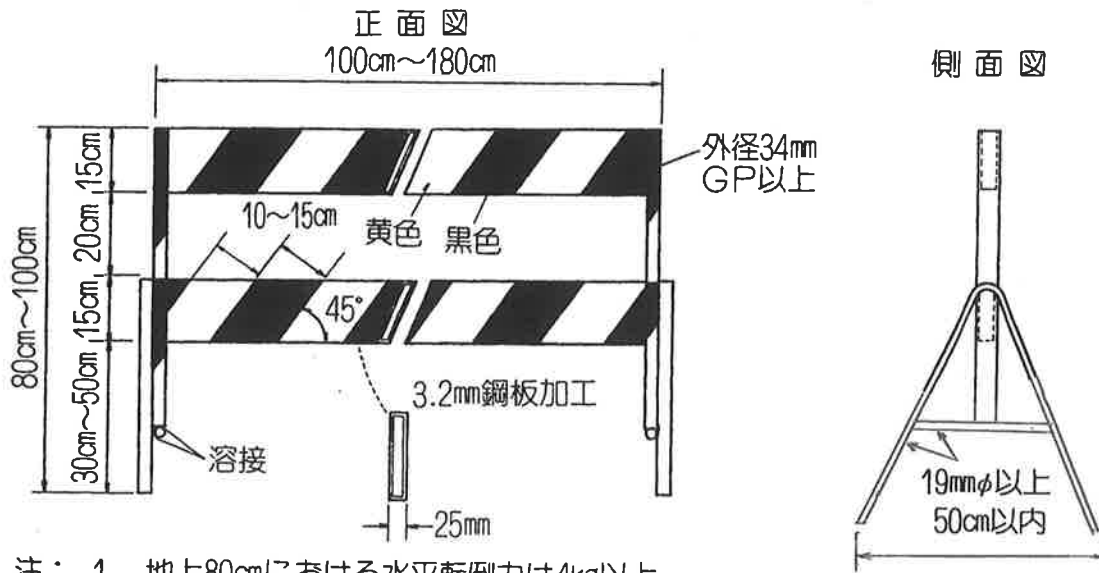
■保安施設の様式

様式1-1 保安さく



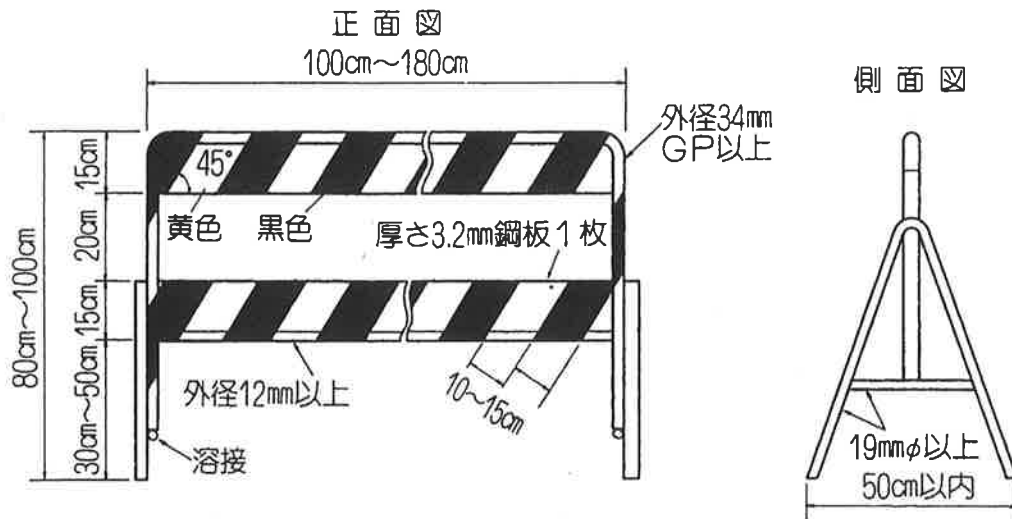
- 注： 1 地上80cmにおける水平転倒力は4kg以上
 2 横板は、風圧による抵抗を少なくするため固定しない

様式1-2 保安さく



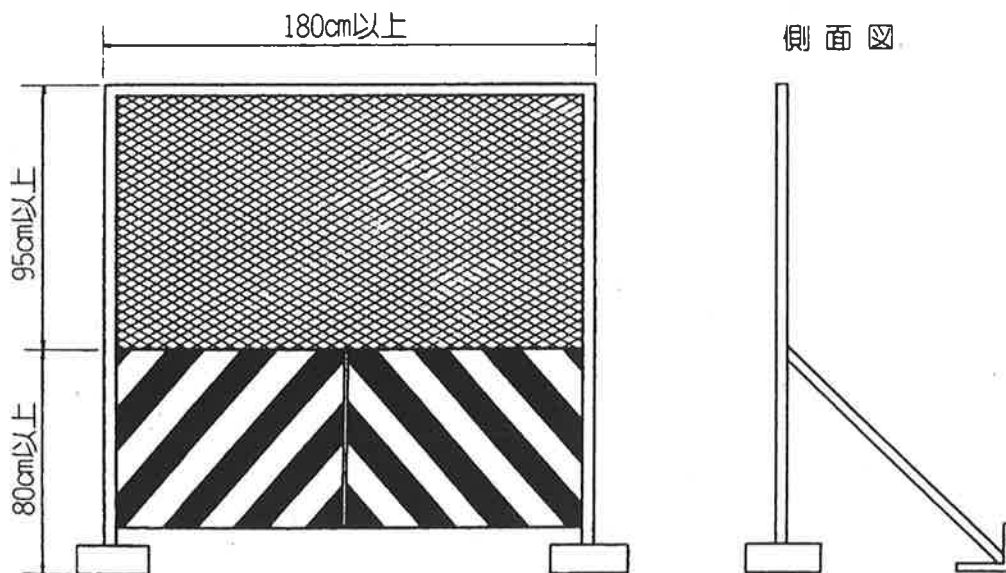
- 注： 1 地上80cmにおける水平転倒力は4kg以上
 2 下段横板は、木製（厚さ15mm以上）でよい。

様式 1 - 3 保安さく



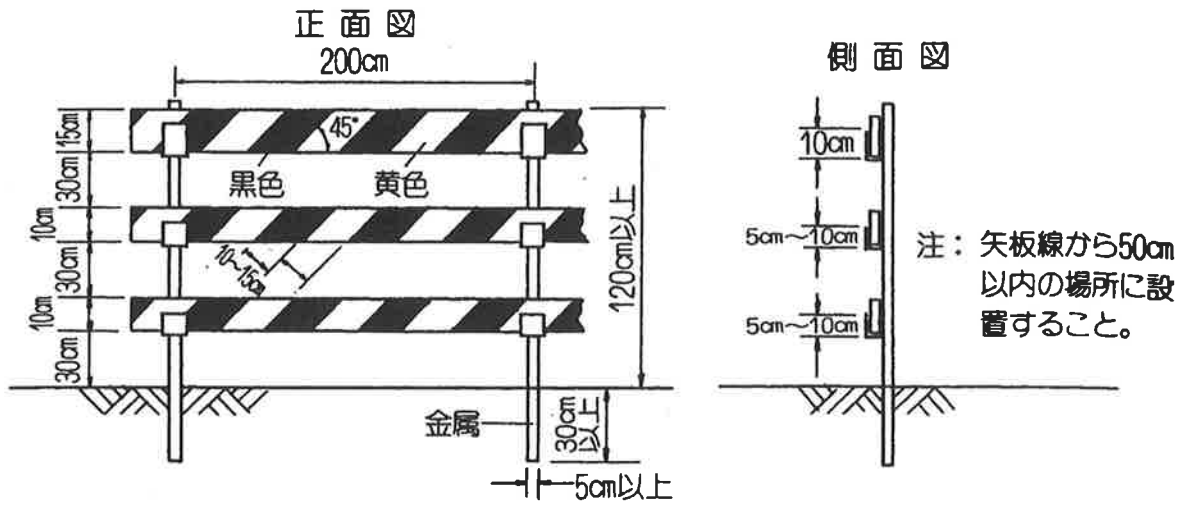
注：地上80cmにおける水平転倒力は4kg以上

様式 2 保安さく

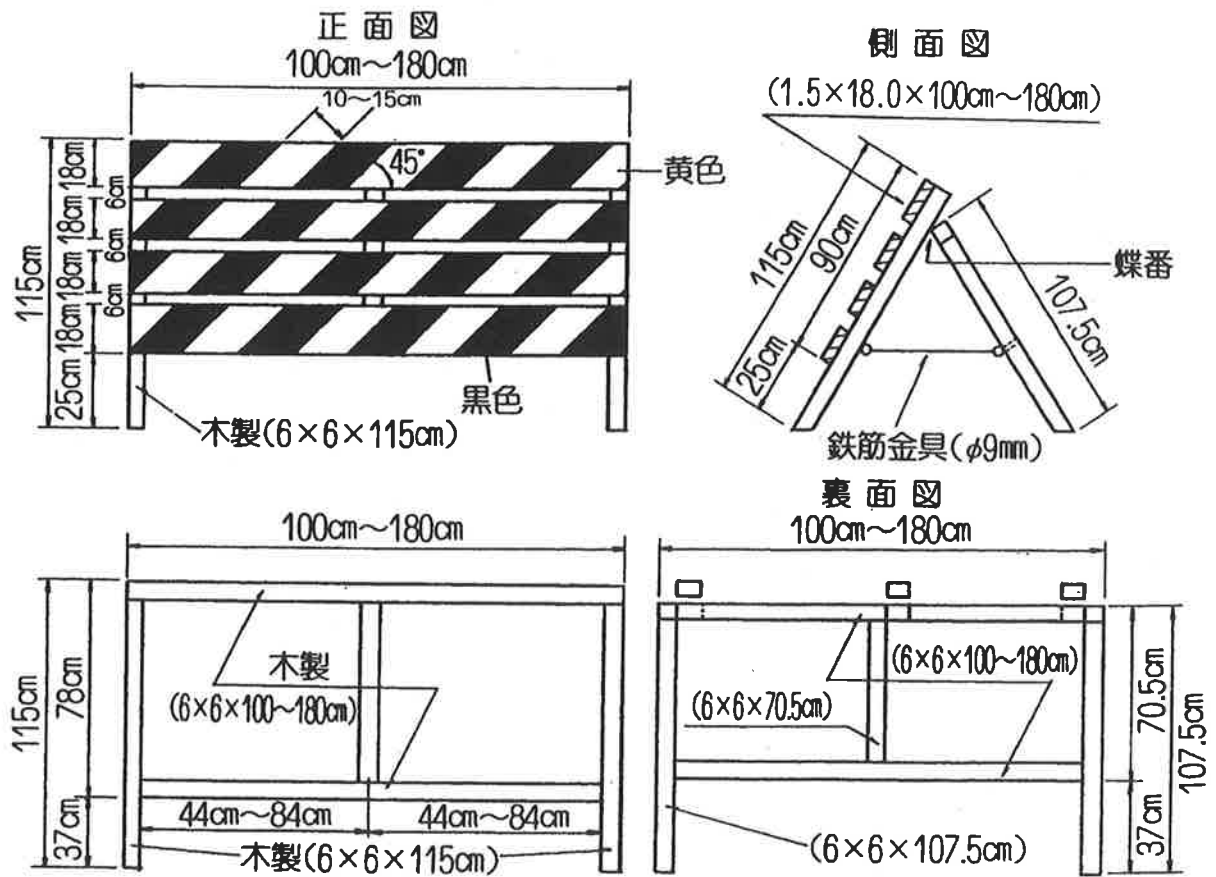


- 注
- 1 連続して設置することを原則とする。
 - 2 突風等による対策が十分であること。
 - 3 車両の通行側及び歩行者の通行側には赤色灯を3m間隔に設置すること。
 - 4 金網付ネットフェンスは、歩行者通路及び車道との境に、残土等が飛散しないよう防護をするために設置する。
 - 5 高さ80cm以上の部分は透視できるものであること。
 - 6 支柱等は十分安全であること。

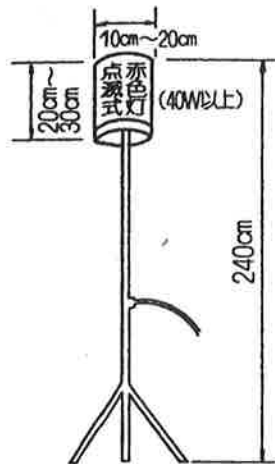
様式3-1 保安さく



様式3-2 保安さく

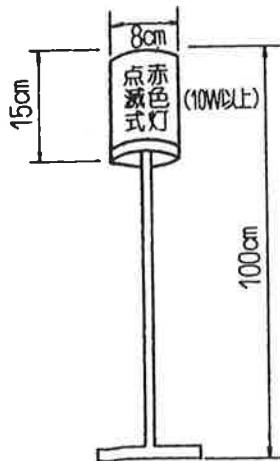


様式4-1 保安灯



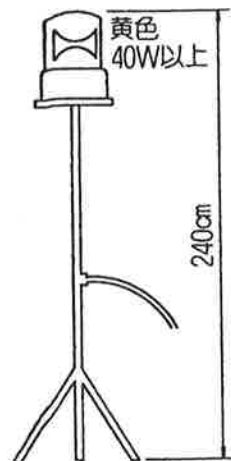
注： 灯器の大きさ，高さ，光度等がこれと同等以上の効果があるものについては，この規格によらないことができる。

様式4-2 保安灯



注： 灯器の大きさ，高さ，光度等がこれと同等以上の効果があるものについては，この規格によらないことができる。

様式5 注意灯



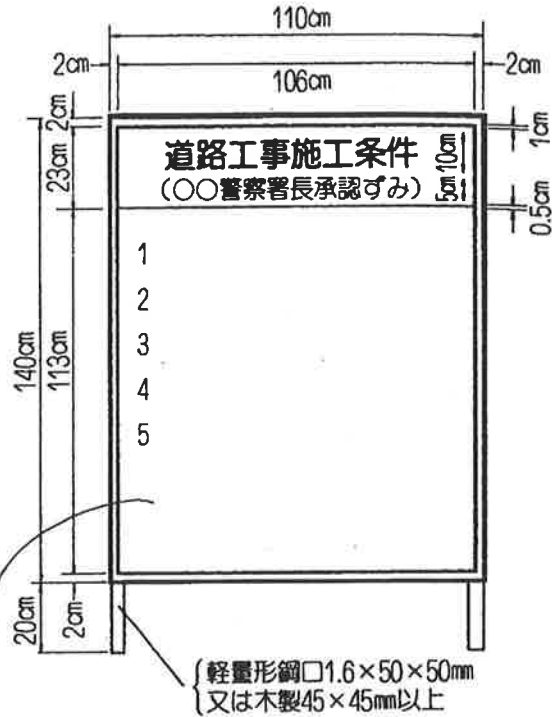
注： 灯器の大きさ，光度等がこれと同等以上の効果のあるものについては，この規格によらないことができる。

様式6-1 工事標示板 (道路管理者の行う場合)

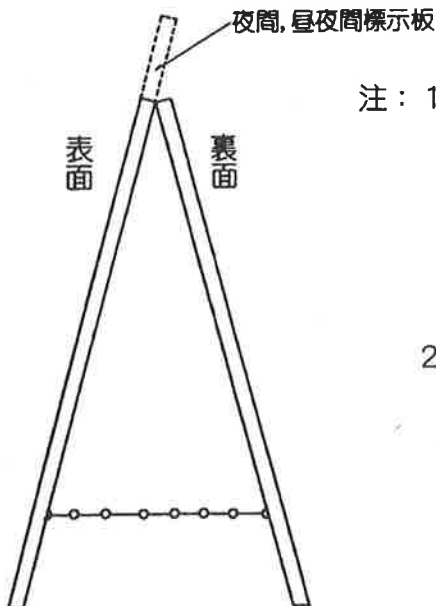
表面図



裏面図



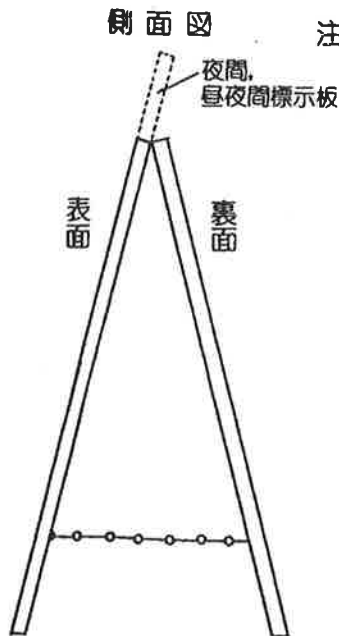
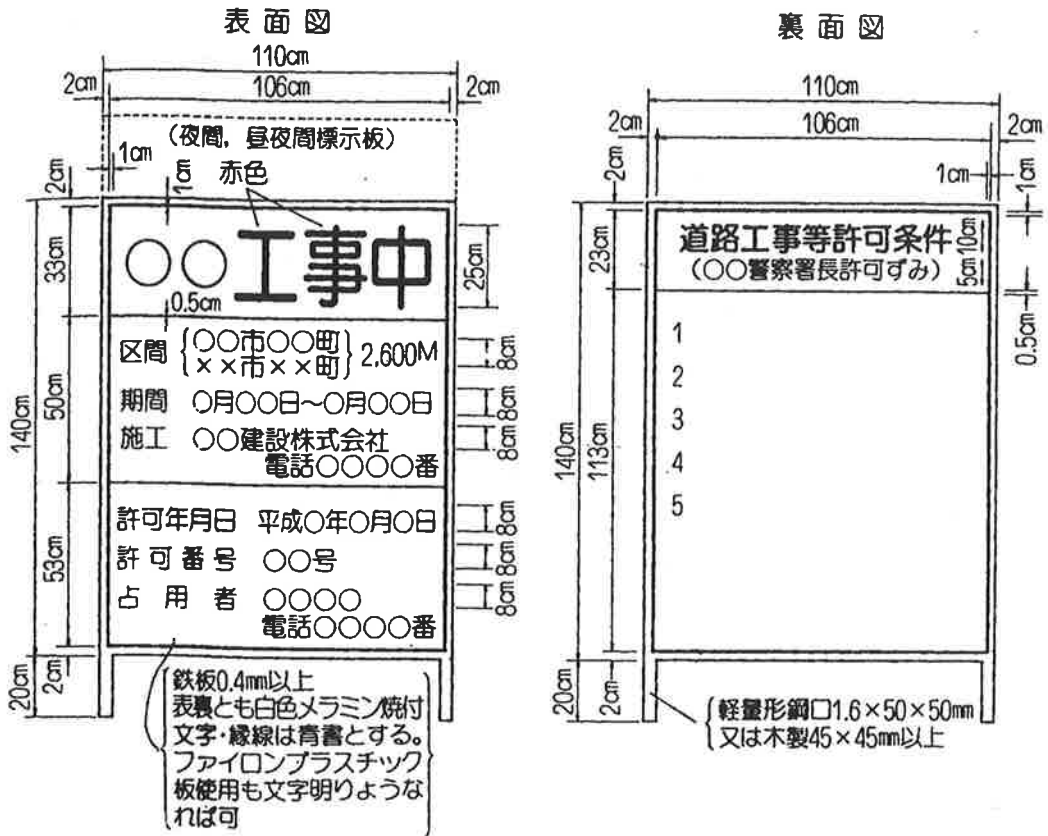
側面図



注：1 色彩は、「ご迷惑をおかけします」、「△△舗装修繕工事」等の工事名表記部分については青地に白抜き文字とし、「〇〇〇〇をなおしています」等の工事内容の説明に関する部分については青色文字、その他の文字及び縁線は黒色、地を白色とし、素材は高輝度反射材を用いるものとする。

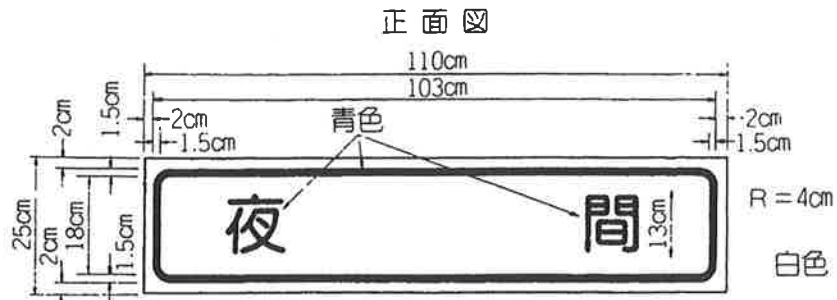
- 2 記載する条件は、次のとおりとする。
- (1) 作業時間に関するもの
 - (2) 1工区の延長に関するもの
 - (3) 工事現場における道路の有効幅員に関するもの
 - (4) 路面覆工埋戻しに関するもの
 - (5) 保安要員の配置などに関するもの
- 等のほか所轄警察署長から指定されたもの

様式6-2 工事標示板（道路管理者以外の者が行う場合）



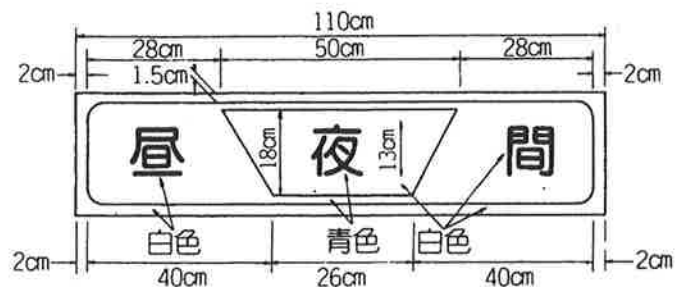
- 注：
- 1 上部枠内の「〇〇工事中」は、水道、電話、下水、電気、ガス、軌道、舗装復旧、地下鉄工事中等と記載すること。
 - 2 上部枠内の「〇〇工事中」の赤色文字は反射性とする。
 - 3 許可の年月日及び番号は、道路管理者の許可に係るものを記載すること。
 - 4 占用者は、〇〇市水道局工務部〇〇建設事務所 }
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇地区管理部 }
等の例により記載すること。
 - 5 記載する条件は、次のとおりとする。
 - (1) 作業時間に関するもの
 - (2) 1工区の延長に関するもの
 - (3) 工事現場における道路の有効幅員に関するもの
 - (4) 路面覆工埋戻しに関するもの
 - (5) 保安要員の配置などに関するもの等のほか所轄警察署長から指定されたもの

様式7-1 夜間工事標示板



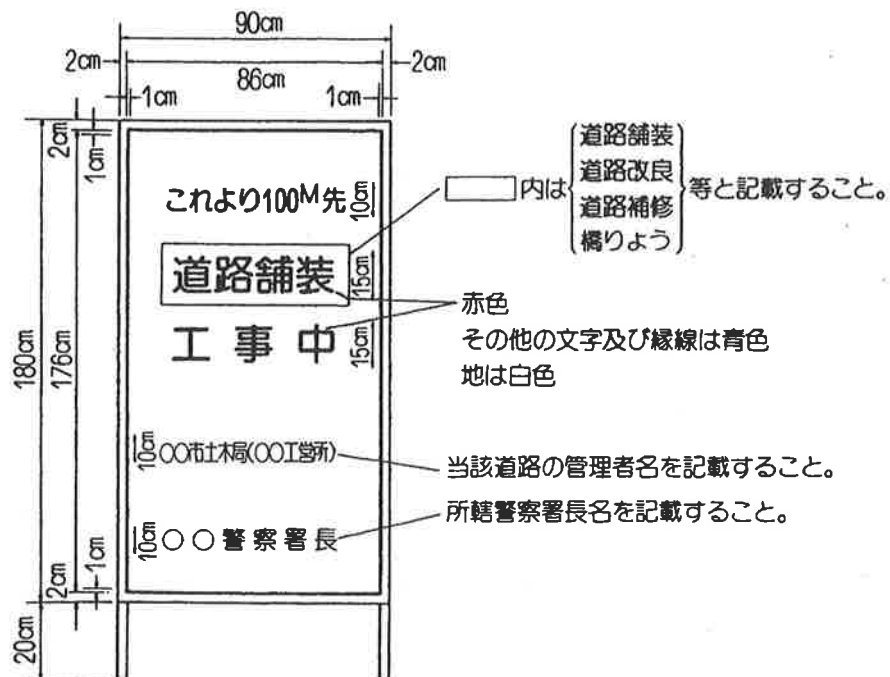
- 注：1 表裏ともメラミン焼付塗装を施す。
2 縁部分を除いた白色部分を反射性とする。

様式7-2 昼夜間工事標示板

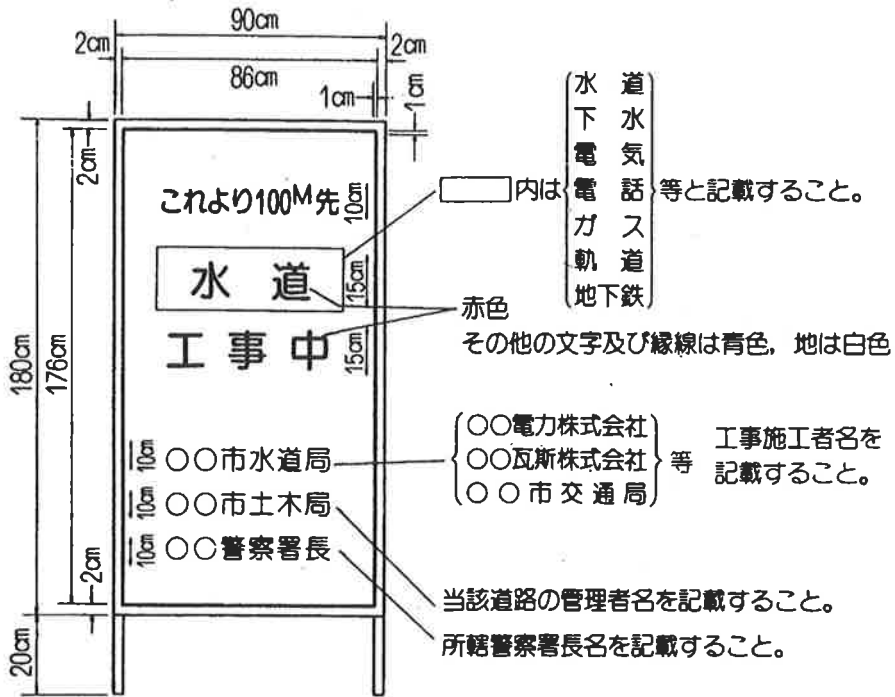


- 注：1 表裏ともメラミン焼付塗装を施す。
2 「夜」の文字を囲む白色部分を反射性とする。

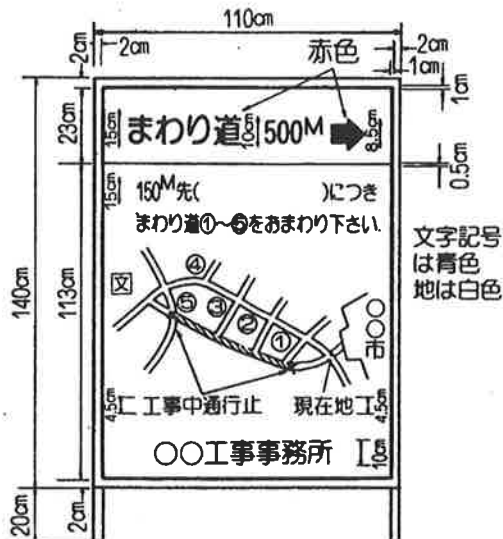
様式8-1 工事予告標示板（道路管理者が行う場合）



様式 8 - 2 工事予告標示板 (道路管理者以外の者が行う場合)

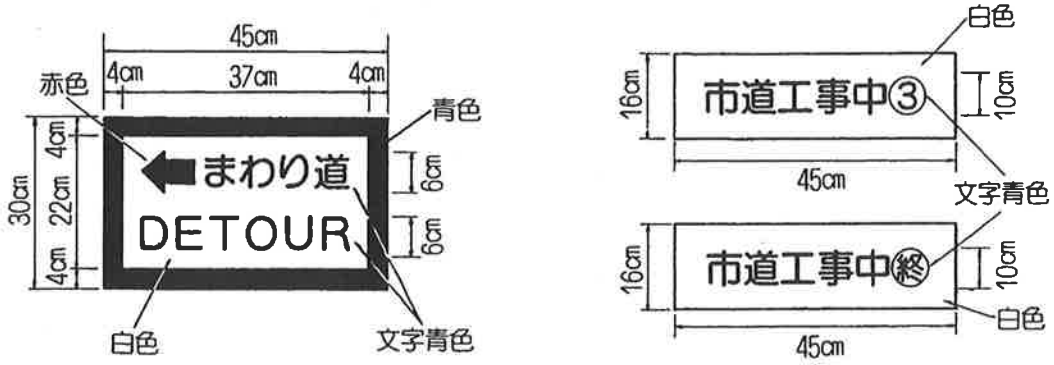


様式 9 う回路標示板

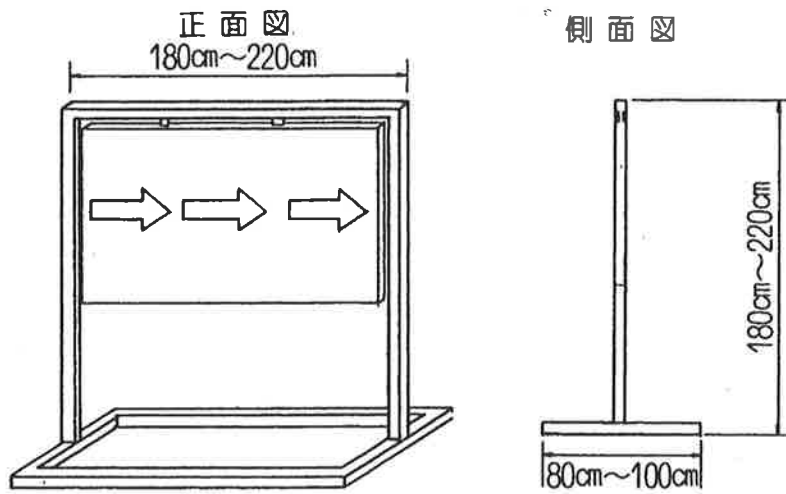


- 注：1 上部枠内の「まわり道 500M ➡」は、反射性とすること。
2 上部「150M先 ()」内には、道路工事、水道工事、下水工事、電話工事、ガス工事、地下鉄工事等と記載すること。

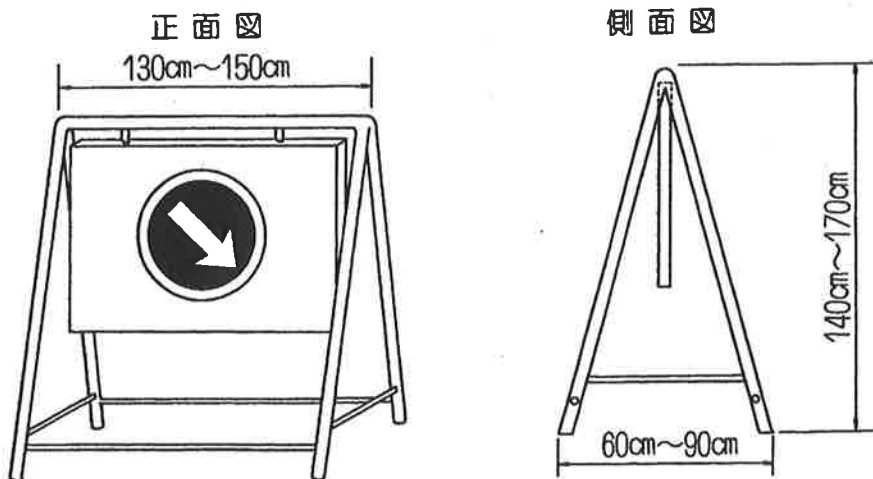
様式10 う回路補助標示板



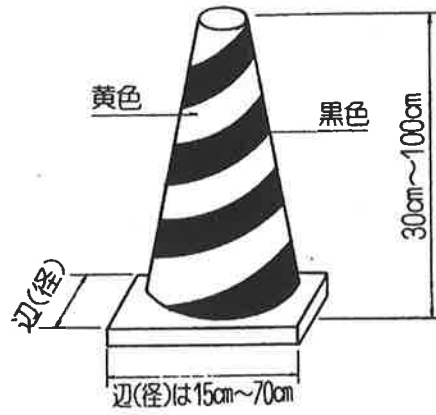
様式11-1 方向指示板



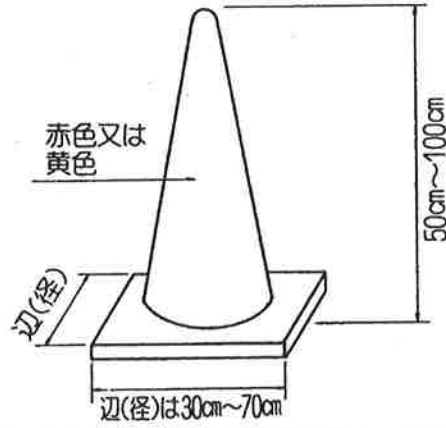
様式11-2 方向指示板



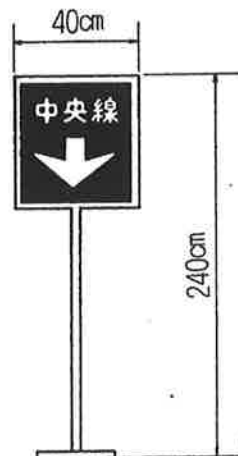
様式12-1 セフティコーン



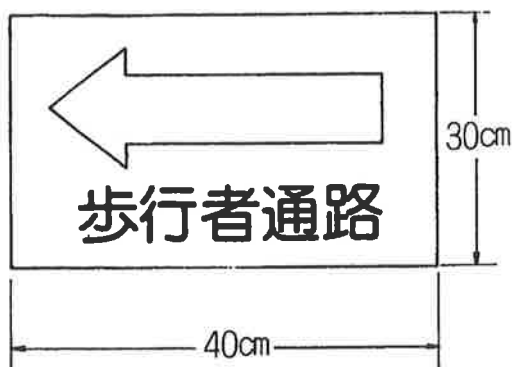
様式12-2 カラーコーン



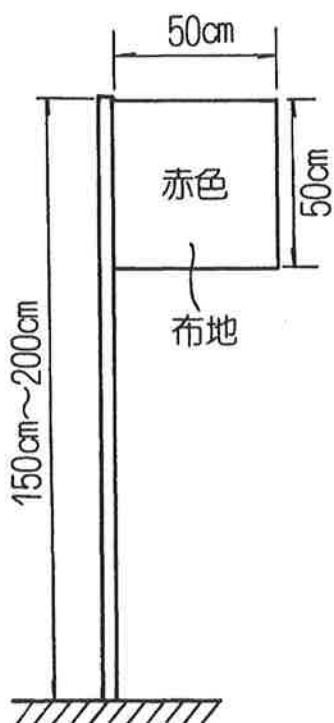
様式13 中央線位置標示板



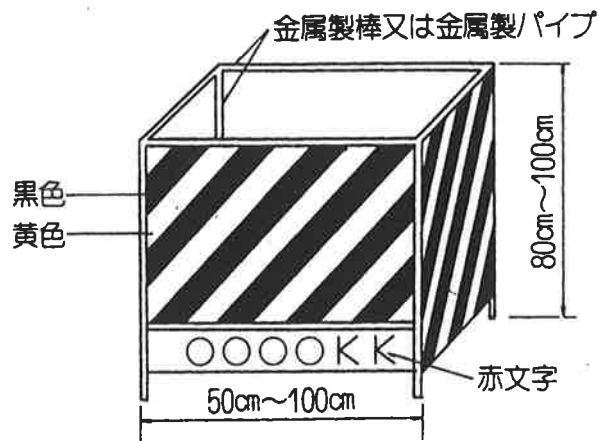
樣式14 步行者通行路標示板



樣式15 作業指示旗

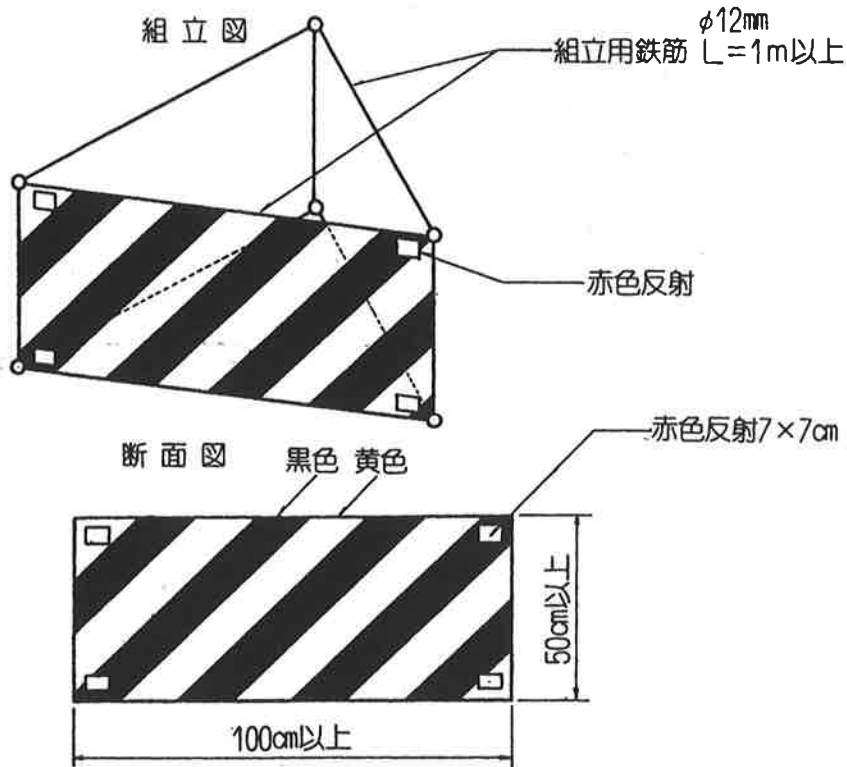


様式16-1 マンホールびょうぶ



注：下端の枠内には工事施工者名を記載すること。

様式16-2 マンホールびょうぶ

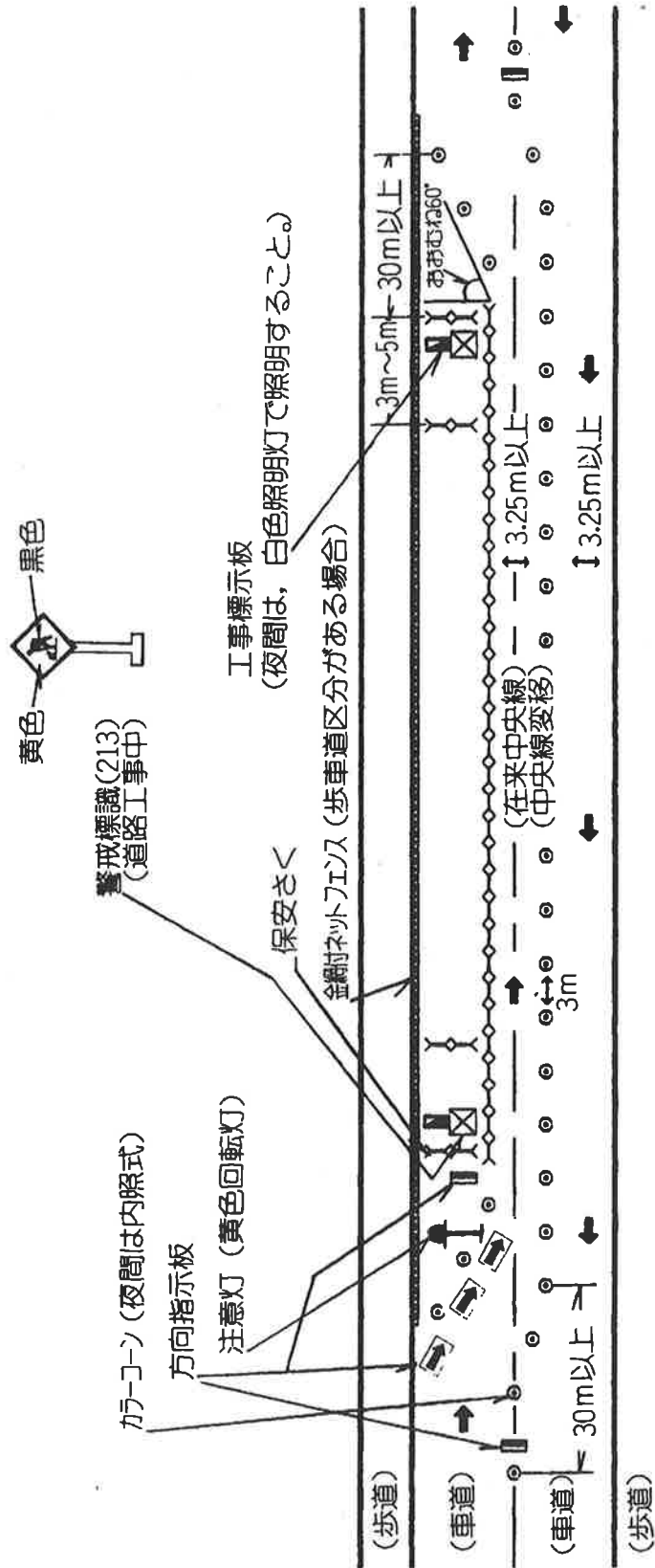


注：1 びょうぶ地はテント地又はナイロン，ポリエチレン(網目)を使用し，2面取付けとする。

2 すえ付けは縦又は横倒しとし，移動しないようにおもりを使用する。

■別記：保安施設設置要領

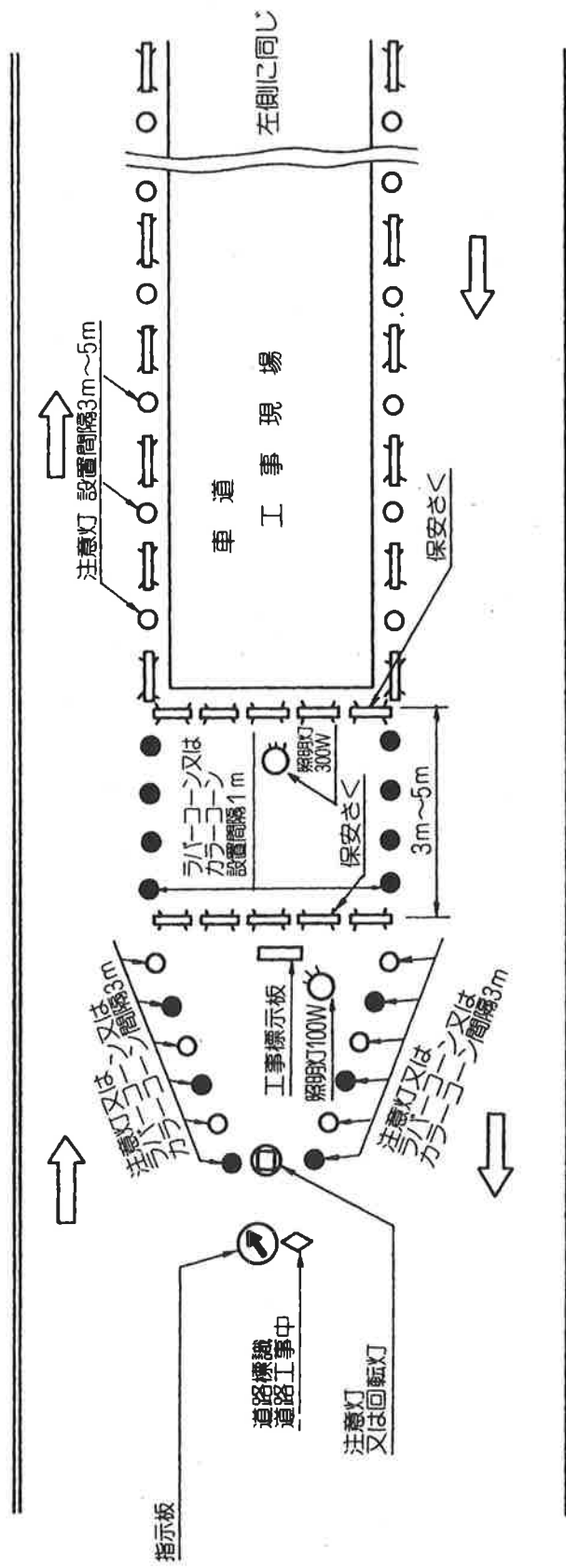
1 道路の片側で施工する場合



注：1 中央線変移の措置は、交通課の具体的な指示を受けて実施すること。

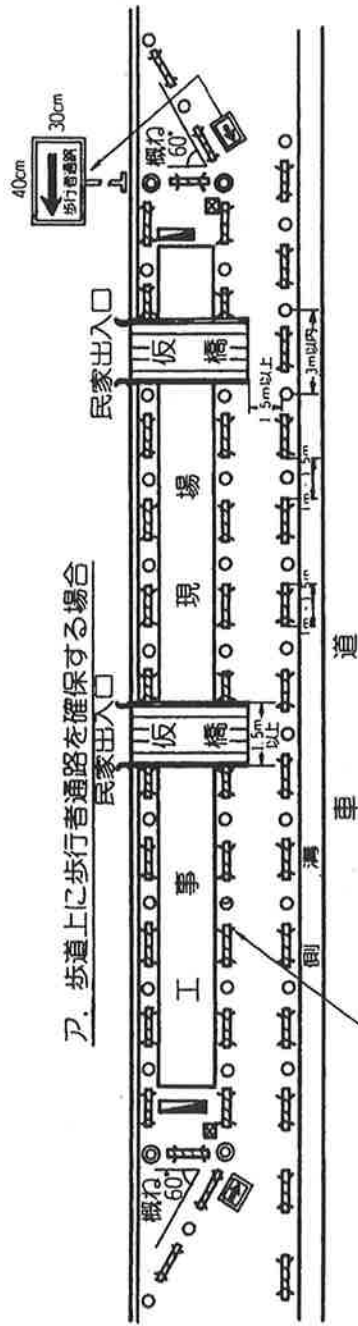
2 道路幅員等によって相互通行できる幅員が確保できないときは、これ以外の方法で規制することになる。

2 道路中央部で施工する場合



- 注： 1 掘削現場と保安さくとの距離は、工作業中に限り車両の出入に必要な最小限の長さに拡大できる。
 2 工事現場延長が80m以上に及びぶ場合は、側方30m間隔に100W以上の照明灯を設置する。
 3 照明灯、注意灯類は、夜間のみで昼間は除外してもよい。

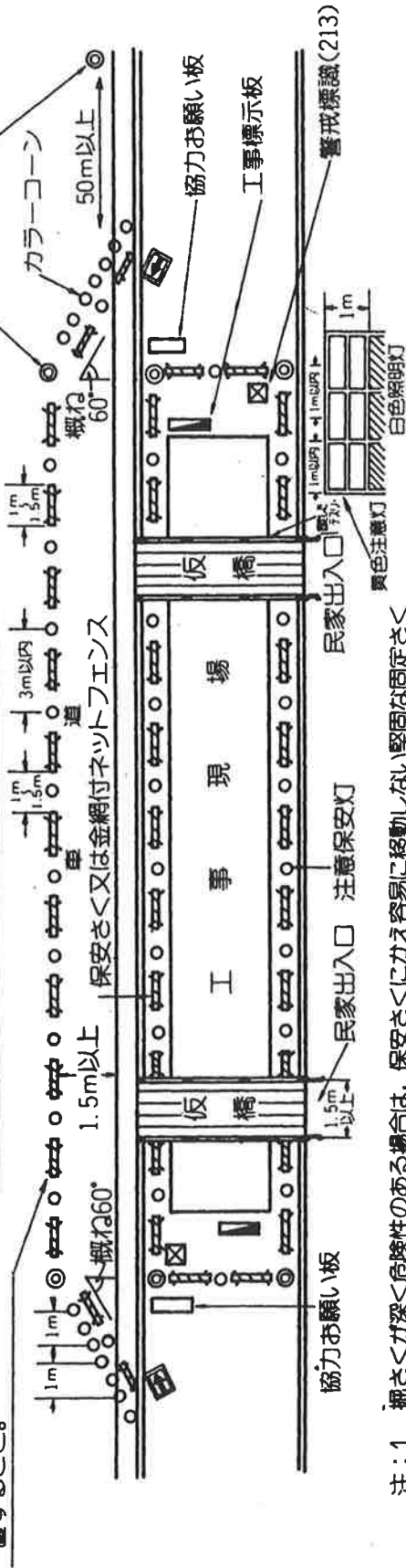
3 歩道上で施工する場合



歩行者通路の工事現場側市
よび車両通行路側は、パネル
を間隔なしに連続して設
置すること。

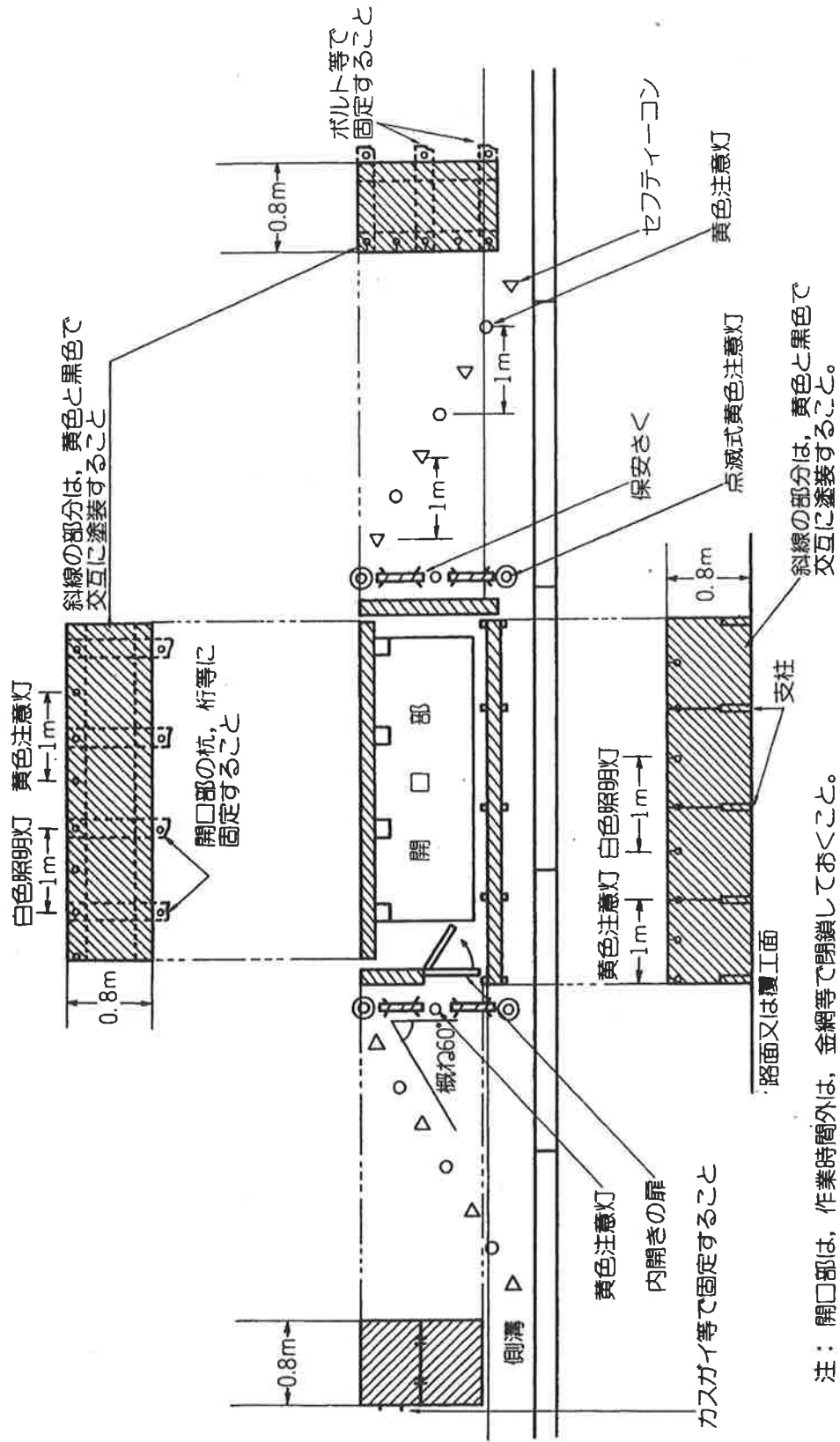
歩行者通路の工事現場側および車両通行路側は、パネルを両側に連続して設置すること。

イ. 歩道を全面柵さくし、車道上に歩行者通路を確保する場合



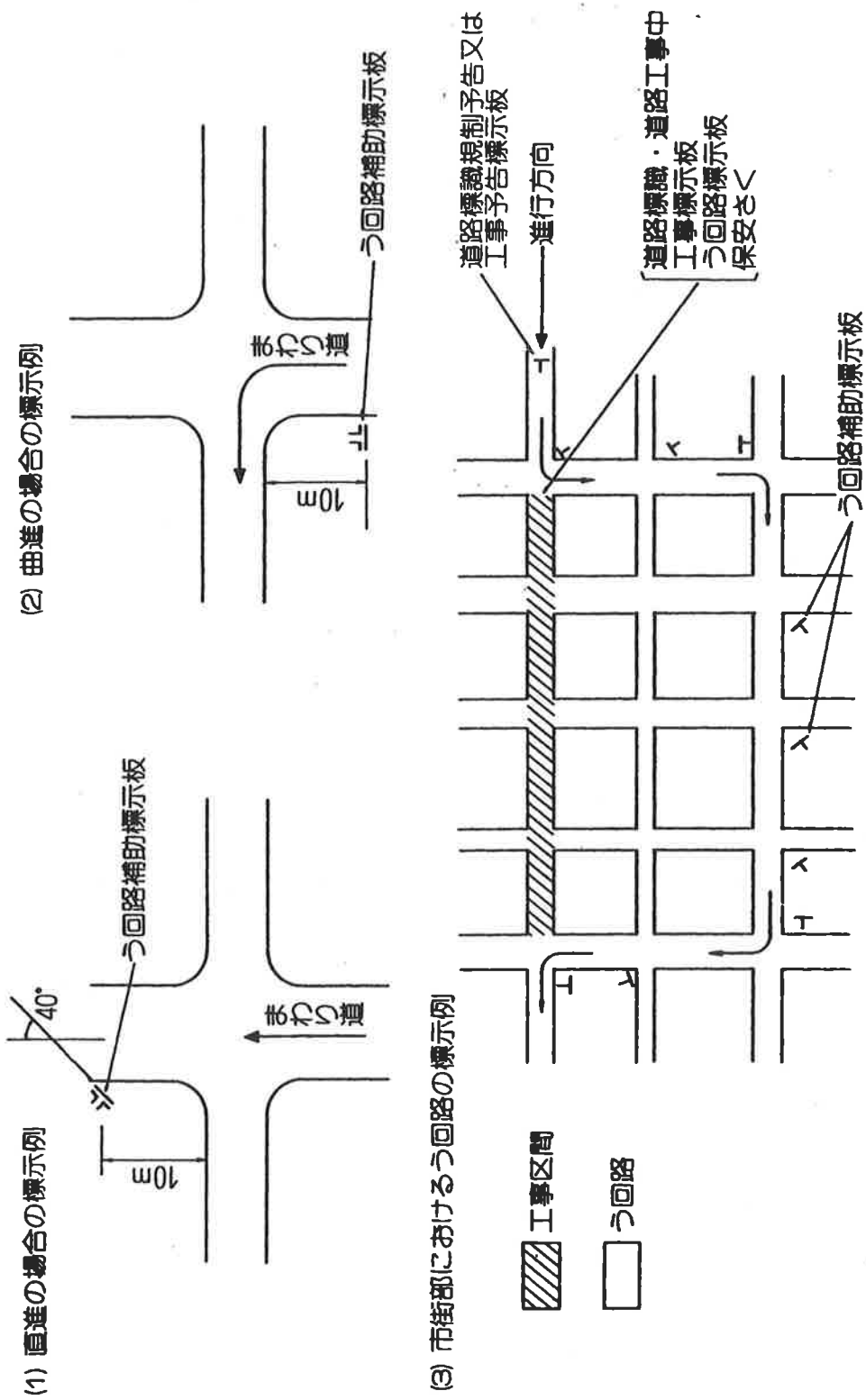
- 注：1 柵さくが深く危険性のある場合は、保安さくにかえ容易に移動しない堅固な固定さくとする。
- 2 柵さく開口が長期(概ね1ヶ月以上)にわたる場合は、歩行者通路の両側の保安さくは、金網付ネットフェンスとする。

4 開口部周辺

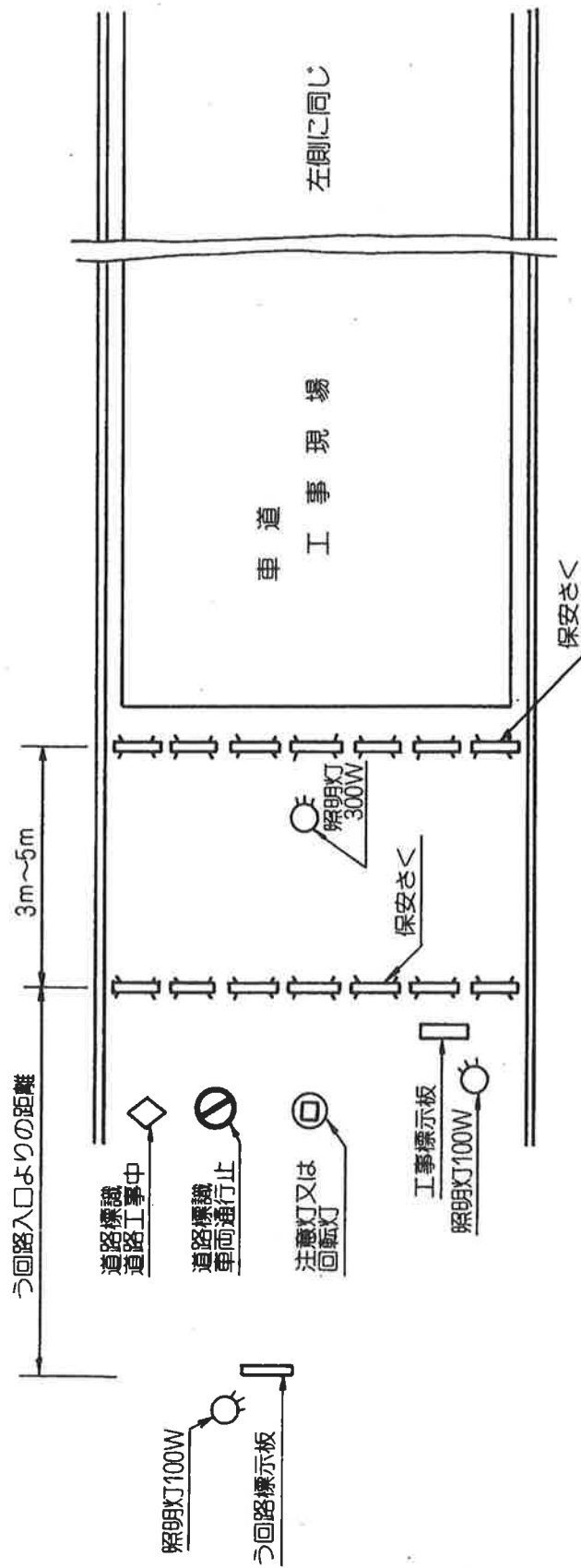


注：開口部は，作業時間外は，金網等で閉鎖しておくこと。

5 う回路を設置する場合



6 通行止の場合



- 注： 1 車両通行止，二輪自動車以外の自動車通行止の場合は，片道又は両側面に保安さくを必要とする。
- 2 う回路標示は，これ以外に道路標識規制予告又は工事予告標示板をう回路手前の交差点等に設置する。